

保険者機能強化推進交付金等に係る 令和8年度評価(7年度実施)結果について

洲本市健康福祉部介護福祉課 長寿支援係

令和8年9月

令和8年度評価(7年度実施)得点の詳細(保険者機能強化推進交付金)

保険者機能強化推進交付金											
	目標Ⅰ 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする			目標Ⅱ 公正・公平な給付を行う体制を構築する			目標Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する			目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む(成果指標)	機能強化交付金計
	体制・取組指標群	活動指標群	小計	体制・取組指標群	活動指標群	小計	体制・取組指標群	活動指標群	小計		
配点	64	36	100	68	32	100	64	36	100	100	400
洲本市得点	64	12	76	60	20	80	52	9	61	55	272
兵庫県平均点	55.8	11.9	67.7	52.6	20.2	72.8	47.2	9.8	57.0	46.7	244.1
全国平均点	52.4	9.9	62.3	50.5	18.7	69.2	42.7	8.2	50.8	47.8	230.1

- 体制・取組指標群については、目標Ⅰ～Ⅲまで、ほぼ達成できている。
- 活動指標群については、目標Ⅰ・Ⅱは兵庫県平均と同程度であり、目標Ⅲは兵庫県平均を下回っている。目標Ⅰ～Ⅲは、全国平均を上回っている。
 - ⇒目標Ⅱ ケアプラン点検の実施状況が、全国で上位7割に入っている。医療情報との突合の実施割合が上位1割に入っている。
 - ⇒目標Ⅲ 介護人材の定着・資質向上に関する研修の実施状況が、兵庫県平均を下回っている。介護支援専門員に対する研修の実施状況は、全国で上位5割に入っている。

令和8年度評価(7年度実施)得点の詳細(介護保険保険者努力支援交付金)

介護保険保険者努力支援交付金											
	目標Ⅰ 介護予防/日常生活支援を推進する			目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する。			目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する。			目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む(成果指標)	努力支援交付金計
	体制・取組指標群	活動指標群	小計	体制・取組指標群	活動指標群	小計	体制・取組指標群	活動指標群	小計		
配点	52	48	100	64	36	100	68	32	100	100	400
洲本市得点	49	23	72	50	9	59	62	20	82	55	268
兵庫県平均点	45.7	23.4	69.1	41.8	17.0	58.8	60.3	17.3	77.6	46.7	252.2
全国平均点	37.4	20.4	57.8	37.8	13.3	51.1	55.5	12.8	68.3	47.8	225.0

- 体制・取組指標群については、目標Ⅰ～Ⅲはほぼ達成できており、兵庫県・全国平均を上回っている。
- 活動指標群については、目標Ⅰ・Ⅲは、兵庫県平均と同程度であり、全国平均を上回っている。目標Ⅱは兵庫県・全国平均を下回っている。
 - ⇒目標Ⅰ 生活支援コーディネーターの地域ケア会議への参加割合が全国で上位1割に入っている。
 - ⇒目標Ⅱ 認知症サポーターステップアップ講座修了者数が、平均を下回っている。
 - ⇒目標Ⅲ 入退院支援の実施状況のうち、入院時情報連携加算算定者数割合が、全国で上位3割に入っている。

令和8年度(7年度実施)在宅医療・在宅介護介護連携にかかる評価項目

介護保険保険者努力支援交付金

目標Ⅲ 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する

(i) 体制・取組指標群

最大26点 得点20点

指 標			時点	回答欄	得点
1	地域の医療・介護関係者等が参画する会議において、市町村が所持するデータ等に基づき、在宅医療・介護連携に関する課題を検討し、対応策が具体化されているか。 ※エに該当する場合、ア及びウに該当していることが望ましい	ア 今後のニーズを踏まえ、①日常の療養支援、②入退院支援、③急変時の対応、④看取りの4つの場面ごとに、在宅医療と介護の提供体制の目指すべき姿を設定している	2025年度実施 (予定を含む)の 状況の評価	○	5点
		イ 在宅医療と介護の提供体制の目指すべき姿を介護保険事業計画に記載している		×	0点
		ウ 地域の人口推計を踏まえた今後のニーズや医療・介護資源、社会資源や利用者の情報、住民の意向等を定量的な情報も含めて把握している		○	5点
		エ アとウの差の確認等により抽出された課題を踏まえ、地域の特性を踏まえた目標の設定、具体的な対応策を立案している		○	5点
		オ 評価指標等に基づき事業の検証や必要に応じた見直しを行う仕組みを設けている		○	5点

在宅医療・介護連携のありたい姿「安心して人生の最後まで暮らせるスモト」			
日常の療養支援	入退院支援	急変時の対応	看取り
医療・介護の関係者の多職種協働によって患者・利用者・家族の日常の療養生活を支援することで、医療や介護が必要とする状態の高齢者が住み慣れた場所で生活できる 医療・介護に関わる多職種がお互いの職種の役割を理解し、ICT等効果的な手段等も活用しながら連携を図り、本人の意向と状態に応じた医療・介護支援を提供することが出来る	入退院の際に、医療と介護が協働・情報共有を行うことで、一体的でスムーズな医療・介護が提供される 淡路圏域における退院支援ルールを運用し、病院とケアマネージャーが在宅復帰に向け入院当初から情報を共有し、安心して本人が在宅(施設等)へ移行できるよう支援する	医療と介護、救急(消防)が連携することにより、本人の意思を尊重したうえで、急変時に適切な対応ができる 在宅療養中に体調が急変することも想定し、かかりつけ医師・本人・家族・支援にあたる多職種等で連絡体制を共有し、慌てずに適切な方法で医療を受けることができる	地域の住民が在宅での看取り等について十分に認識・理解した上で、人生の最終段階における医療、療養場所(病院・自宅・施設)について、医療・介護関係者が本人・家族の意向を尊重し、それが実現できるように支援する
地域ケア会議 すもトーク、研修会 介護・フレイル・認知症予防 リハビリ、再発予防、見守り 医療介護相談窓口 ICT等を活用した連携ツール	退院支援ルールの運用 あわじねっと(診療情報の共有) 連携バス 入退院カンファレンス ICT等を活用した連携ツール	洲本市 安心カード 緊急通報装置貸与事業 かかりつけ医・薬局 見守り、ACPの普及 救急(消防)の現状把握 ICT等を活用した連携ツール	ACPの普及 エンディングノートの活用 地域住民に対する講演会等 ICT等を活用した連携ツール
認知症の対応、感染症発生時や災害時対応 医療、介護、障害福祉、健康づくり、防災、救急の連携 訪問診療医ガイド、訪問看護ステーション活動状況アンケート、日常医療機関・介護事業所ハンドブック			

令和8年度評価(7年度実施)で前年度より向上した項目

介護保険保険者努力支援交付金

目標Ⅱ 認知症総合支援を推進する

(i) 体制・取組指標群

最大20点 得点15点

難聴高齢者の早期発見・早期介入に係る取組を行っているか。 ※ア→イ→ウ→エの順で該当していることが望ましい	ア 普及啓発の取組を行っているか	2025年度実施 (予定を含む)の 状況の評価	○	5点
	イ 早期発見の取組を行っているか		○	5点
	ウ 受診状況の把握と未受診者への再度の受診勧奨を行っているか		○	5点
	エ 受診勧奨者のうち50%以上の者が受診しているか		×	0点

●認知症総合支援を推進するための体制・取組指標に、難聴高齢者の早期発見・早期介入に係る取り組みについての評価指標が令和7年度評価(6年度実施分)から新設された。

●令和7年度に、聴こえGENKI事業を開始した。ア普及啓発の取組として、聴こえの市民講座を開催(令和7年6月、10月) イ早期発見の取組として、聴こえの測定会を開催(令和7年度9回) ウ受診状況の把握と未受診者への勧奨について、聴こえの測定会参加者の内、評価スコアが60点以下の者に受診勧奨(測定会の3か月後) エ受診勧奨者のうち50%以上の者が受診しているかについては、令和7年9月時点の見込では×。令和8年6月時点の実績は○(59%)

令和8年度(7年度実施)得点の詳細(成果指標群:推進交付金・支援交付金共通)

目標Ⅳ 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む（成果指標）									
	①軽度【要介護１・２】 （平均要介護度の変化Ⅰ） 短期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。		②軽度【要介護１・２】 平均要介護度の変化Ⅱ 長期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	③中重度【要介護３～５】 （平均要介護度の変化Ⅰ） 短期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。		④中重度【要介護３～５】 （平均要介護度の変化Ⅱ） 長期的な平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。	⑤健康寿命延伸の実現状況 要介護２以上の認定率、認定率の変化率の状況はどのようになっているか。		合計
	ア変化率の状況	イ変化率の差		ア変化率の状況	イ変化率の差		ア認定率	イ認定率の変化率	
配点	20		20	20		20	20		100
洲本市得点	15	0	15	0	15	5	0	5	55
兵庫県平均点	9.0		8.5	10.6		8.0	10.5		46.7
全国平均点	10.3		8.0	10.2		8.0	11.3		47.8

※①、③、⑤は※アとイを比較し、より上位となった方で得点

評価結果まとめ 令和7年度・8年度

令和7年度 評価(6年度 実施)	推進交付金	支援交付金	合計
満点	400点	400点	800点
洲本市	272点	253点	525点
兵庫県平均	230.1点	249.0点	479.0点
全国平均	219.3点	215.8点	435.0点
得点率	68.0%	63.3%	65.6%

令和8年度 評価(7年度 実施)	推進交付金	支援交付金	合計
満点	400点	400点	800点
洲本市	272点	268点	540点
兵庫県平均	244.1点	252.2点	496.4点
全国平均	230.1点	225.0点	455.1点
得点率	68.0%	67.0%	67.5%

●令和8年度評価(7年度実施)まとめ

- ・自立支援・重度化防止に係る体制・取組については、ほぼ達成できている。
- ・活動指標については、県平均を下回る指標があった。
- ・成果指標については、県・全国平均を上回った。
- ・推進交付金と努力支援交付金を合計した得点は、県・全国平均を上回った。
- ・合計得点と得点率は、前年度を上回った。